

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Antibody (Unlabeled)
製品番号 : XXXX-01 (メーカー略号: SBA)
構成品名 : Antibody (Unlabeled)
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
生殖毒性:区分 1B

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

慣用名又は別名 : ホウ砂、ボラックス、四ほう酸二ナトリウム十水和物(ほう酸ナトリウム・十水和物)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号
ほう酸ナトリウム・十水和物	0.95	1303-96-4	-
ホウ酸	0.62	10043-35-3	1-63
塩化ナトリウム	0.44	7647-14-5	1-236

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ホウ酸

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ほう酸ナトリウム・十水和物, ホウ酸

CMR, REACH SVHC 該当成分

ほう酸ナトリウム・十水和物; ホウ酸

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診察、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚や眼に触れないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。
容器を密閉し、直立させて保管すること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

ACGIH(2004) TWA: 2mg/m³(l);
STEL: 6mg/m³(l) (上気道刺激)

(ホウ酸)

ACGIH(2004) TWA: 2mg/m³(l);
STEL: 6mg/m³(l) (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：透明

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：~8.2

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：溶ける

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1)：データなし

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の実験条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光、熱

混触危険物質

強酸、金属塩、ジルコニウム

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

rat LD50=3493-4980mg/kg (EHC 204, 1998)

(ホウ酸)

rat LD50=2660-5140mg/kg (NITE初期リスク評価書, 2008)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

rabbit LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on Aug. 2017)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

dust: rat LC50=>2mg/L/4hr (PATTY 6th, 2012)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

ヒト 皮膚炎 (ACGIH, 7th, 2001); ウサギ/モルモット 刺激性 (ECETOC TR63, 1995; NITE初期リスク評価書, 2008)

(ホウ酸)

モルモット/ラビット 軽度から中等度の皮膚刺激性 (PATTY 6th, 2012)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

ヒト 眼刺激性 (ATSDR, 2010; EHC 204, 1998); ラビット 刺激性 (PATTY 6th, 2012); ラビット 結膜の変色、水疱形成、肥厚、角膜への刺激は8~21日で回復 (ECETOC TR63, 1995)

(ホウ酸)

ヒト 刺激性 (ACGIH 7th, 2005et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

ACGIH-A4(2004) : ヒト発がん性因子として分類できない

(ホウ酸)

ACGIH-A4(2004): ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

cat. 1B; NITE初期リスク評価書, 2008; ATSDR, 2010; ECHA CL Invt.; Accesss on Aug. 2017

(ホウ酸)

cat. 1B; NTP DB, 2013

催奇形性: データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

気道刺激性(ホウ酸または七酸化二ナトリウム四ホウ素五水和物; ACGIH 7th, 2005; ATSDR, 2010; DF
GOT, 2013; Access on May 2017)

(ホウ酸)

気道刺激性(ECETOC TR 63, 1995)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): データなし

誤えん有害性: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50=290mg/L/72hr(環境省生態影響試験, 2008)

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

魚類(ゼブラフィッシュ) LC50=14.2mg-B/L/96hr(換算値)(EHC204, 1998); 甲殻類(オオミジンコ)

LC50=73mg-B/L/24hr(換算値)(EHC204, 1998)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(ホウ酸)

魚類(ニジマス) NOEC=2.1mg/L/87days(環境省リスク評価第6巻, 2008)

水溶解度

(ホウ酸)

5 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2005)

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

0.593 g/100 ml (HSDB, 2004); 5.1 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2014)

残留性・分解性

(ほう酸ナトリウム・十水和物)

難分解性(金属元素)

生体蓄積性

(ホウ酸)

log Pow=-1.09 (ICSC, 2014)

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。容器を再利用してはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 ホウ酸(別表第9の544)

名称等を通知すべき危険/有害物 ホウ酸(別表第9の544); ほう酸ナトリウム・十水和物(別表第9の544)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

ホウ素含量: $0.95(\text{B}_4\text{Na}_2\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O} \text{の含有}\%) \times 43.24(\text{B原子量}) / 381.37(\text{B}_4\text{Na}_2\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O} \text{分子量}) = 0.11\%$

ホウ素含量: $0.62(\text{BH}_3\text{O}_3 \text{の含有}\%) \times 10.81(\text{B原子量}) / 61.83(\text{BH}_3\text{O}_3 \text{分子量}) = 0.11\%$

(ホウ素含量が計1.0%未満のためPRTR法には該当しない)

消防法：非該当

化審法：非該当

大気汚染防止法：有害大気汚染物質 ホウ酸; ほう酸ナトリウム・十水和物

土壤汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

ホウ酸

政令番号24:

含有量 $\leq 4000 \text{ mg/kg}$

溶出量 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

第二溶出量 $\leq 30 \text{ mg/liter}$

地下水 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

土壤環境 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

ほう酸ナトリウム・十水和物

政令番号24:

含有量 $\leq 4000 \text{ mg/kg}$

溶出量 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

第二溶出量 $\leq 30 \text{ mg/liter}$

地下水 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

土壤環境 $\leq 1 \text{ mg/liter}$

水質汚濁防止法：有害物質

ホウ酸 法令番号 24: 海域以外 C 10mg/liter, 海域 C 230mg/liter

ほう酸ナトリウム・十水和物 法令番号 24: 海域以外 C 10mg/liter, 海域 C 230mg/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。